

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	キャリアデザイン2	
科目基礎情報					
開設学科	電子・電気科	コース名	電子工学コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	キャリアサポートブック（本校出版）＊入学時に配布				
担当教員情報					
担当教員	三須 健吾	実務経験の有無・職種	無		
学習目的					
この科目を受講する学生は、社会的活動が協働の場であることを理解し、これまで体験してきた競争の場とは異なる考え方や能力が求められることを意識できるようになる。21世紀の「知識基盤社会」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業中での行動を通じて、学生の「ジェネリックスキル」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「キャリアデザイン」を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	レポート	40%	授業内容の理解度を確保するために実施する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	学生と社会人の違いを認識する	専門学校で求められることと社会が必要としていることを理解する			
2回	業種と企業について(1)	人に対するサービスを中心に業種と企業について理解する			
3回	業種と企業について(2)	事物に対するサービスを中心に業種と企業について理解する			
4回	職種について(1)	自分の生活との関わりから職種を理解する			
5回	職種について(2)	職業の意味と多様性について理解する			
6回	社会に出てから必要な力を養う(1)	読んで理解する力を養う			
7回	社会に出てから必要な力を養う(2)	聴いて理解する力を養う			
8回	社会に出てから必要な力を養う(3)	話して自分を伝える力を養う			